

共生社会の実現と日本語教育～日本語教育に関連する政策動向から

—これからの日本語教育関係者に求められる専門性—

3/31(金) 19:00～20:30

日本語教育推進法の施行、日本語教師の国家資格化の動きなど、日本語教師を取り巻く環境は現在大きく変化しており、日本語教師の社会的役割はますます重要になってきています。当機構では、そのような変化の激しい日本語教育の世界を広い視野で見つめ直し、これからの日本語教師に必要な情報をお届けし、必要なスキル・資質・能力を伸ばすためのヒントをご提供します。日本語教師どうしのネットワーク作り、情報交流の機会を広げるための場としてもご活用ください。

※日本語教師ネットワーク機構のサイトは、3月下旬公開予定です。



講師:神吉 宇一 氏

武蔵野大学
グローバル学部准教授

【講師プロフィール】

小学校教員として社会人生活をスタート、正規・非正規 30 以上の職を経験し、2016 年より現職。日本語教育の質の維持向上の仕組みに関する有識者会議委員、その他、過去には文化審議会国語分科会委員や日本語教育学会副会長も務める。専門は日本語教育学、日本語教育政策。2000 年代後半より海外産業人材育成協会 (AOTS) で研修生・就労者等に対する日本語教育に携わったことから、就労の日本語や日本語教育政策への関心を抱く。現在は国の政策立案への関わりを少しずつ減らし、都道府県や基礎自治体の日本語教育政策への関わりを強めている。2021 年度日本語教育学会学会賞、2021 年度日本語教育学会学会活動貢献賞受賞。

【主な著書・論文】

『未来を創ることばの教育をめざして:内容重視の批判的言語教育の理論と実践』(編著、2018 年、ココ出版) など。

■セミナー内容紹介

少子高齢化が進み、人口減少局面に突入している日本社会では、人口減対策として外国人の受け入れを少しずつ進めています。2019 年の日本語教育の推進に関する法律の成立をきっかけに、日本語教育に関する法的・政策的な動きも活発化しています。そのような中で、教師の資格や教育機関認定という日本語教師の働き方・待遇に関する部分と、日本語教育の参照枠による教育に関する部分に大きな変化が起きつつあります。本講座では、ことば・人・社会の関係から日本語教育をどのように捉え直したらよいかという観点から、これからの日本語教育関係者にもとめられる専門性についてお話しします。

- ◆主催 特定非営利活動法人 国際教育振興協会 日本語教師ネットワーク機構
- ◆対象 日本語教師、日本語教育との異業種交流や多文化共生、社会とのつながりに関心のある方
- ◆形式 ZOOM 配信 ※最新バージョンへのアップグレード、Wi-Fi 環境の確認をお願いします。
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 3/24(金) 17:00 までに以下申込フォーム、もしくは右 QR コードにてお申込みください。

【セミナー申込フォーム】 <https://forms.gle/omYaT5DE8CvWXZhW5>

